

仙台市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：今期障害者保健福祉計画に引き続き、次期計画においても「地域移行支援・地域定着支援の推進」について記載

【達成状況】

◇現在策定中ではあるが、地域移行・地域定着支援を推進するために、精神科病院との連携体制の構築やピアサポーターの活用、地域での生活を支える支援策の拡充等に取り組むことを記載する予定である。

目標：地域移行できた事例、できていない事例の分析と必要な資源・プログラム、体制整備の検討

【達成状況】

◇仙台市精神保健福祉総合センターが相談支援事業所や区保健福祉センターと支援にあたった事例について、その支援内容や支援期間などの分析を行った。
◇医療機関のケースワーカーなどが地域移行の対象者を紹介する際、課題と考える事柄について聴き取りを行い、整理した。
◇相談支援事業所、ピアサポーター、仙台市精神保健福祉総合センターが協働で精神科病院の病棟に出向き、長期入院患者に対して、地域移行支援の実際や社会資源について普及啓発活動を行った。

目標：地域移行支援・地域定着支援に関わる人材（ピアサポーターを含む）の育成

【達成状況】

◇日本精神科看護協会宮城県支部と共催で、医療従事者、福祉関係職員、行政職員を対象とした地域移行関連研修会を開催した。
◇精神障害者のための地域移行推進連絡会を毎月開催し、医療従事者、福祉関係職員、行政職員が長期入院者の地域移行・地域生活に関する情報や事例、課題を共有し、対策等について検討を行った。
◇相談支援事業所、ピアサポーター、仙台市精神保健福祉総合センターで精神科病院の職員研修に出向き、地域移行支援について説明し、意見交換を行った。
◇ピアサポーターの個別支援実践の蓄積を通して、ピアサポーターとしての専門性の向上や効果的な介入のあり方について検討している。
◇ピアサポーター雇用促進事業による研修及び実習を実施し、ピアサポーターを育成している。

平成30年度の実行方針

1. 地域移行支援・地域定着支援の多機関協働体制整備
2. 精神障害者の地域生活を支える支援策の拡充検討
3. 地域移行支援・地域定着支援に関わる人材（ピアサポーターを含む）育成の継続